

若者交流促進事業

参加者募集！
初心者でも
一人でも大歓迎！

フリーバレーボール早春の陣 まつバレー グラ 蔵チャンカップ



2023年 **3月19日** 日 **開催**

場所 大蔵村赤松生涯学習センター

時間 9時00分集合（開会式9時20分）

対 象

- ①若者並びに若者と自負している方
- ②いつまでも若くありたいと思っている方
- ③若者交流を積極的に支援する方・したい方

団体・個人どちらでも参加OKです。

参加料

高校生以上 一人500円

※保険料を含む。当日お持ちください。

申 込

裏面参加申込用紙に記入の上、Oh蔵SPORT事務局までFAXまたは
持参でお申し込みください。 **3月10日(金)締切**

連絡先

大蔵村大字赤松689-1 赤松生涯学習センターまつぼっくり内

NPO法人Oh蔵SPORT事務局（高橋・八嶽）

TEL 0233-75-2212 FAX 0233-34-2417



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、競技中以外のマスク着用、入館時の検温・手指消毒にご協力をお願いいたします。

主催：NPO法人Oh蔵SPORT

主管：まつバレー蔵チャンカップ実行委員会

まつバレー蔵チャンカップ 参加申込書

3月10日(金)締切

チーム名 【 】			
	氏名	住所	電話番号
代表者			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

【申込先】

大蔵村大字赤松689-1 赤松生涯学習センター

NPO法人Oh蔵SPORT（高橋・八鍬）

TEL 0233-75-2212 FAX 0233-34-2417

青少年もがみ

第37号 令和5年2月1日

— 発 行 —

最上地区青少年育成連絡協議会



中高生ボランティアサークルが企画した「宝探しイベント」の様子（金山町）

町づくりが青少年を育む

金山町青少年育成町民会議会長 矢 口 政 一



現在の日本は、ICTの発達やインターネットの普及により、世界各国の情報を簡単に入手することができ、コミュニケーションツールとしても広く活用されています。また、自宅にいて買物ができるネット通販なども普及し、非常に便利な社会になってきていると感じております。

しかしながら、このようなメディア環境の変化はプラス要素がある反面、青少年にはマイナスの影響を与えている可能性もあります。メディアを使った青少年のいじめ・非行の増加、コミュニケーション能力の低下、ネット依存による不登校児童・生徒の増加など様々な問題が挙げられています。中でも、SNSによるいじめ・非行の問題が懸念されております。

県内では、いじめ・非行が年々増加している中、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動として、環境づくりや街頭指導、啓発活動を行っています。金山町青少年育成町民会議においても県の取組と共に、いじめ・非行防止標語の募集や入賞・入選者の標語を掲載したクリアファイルの作成、配布などを行っています。

こうした青少年育成活動は、地域の方々が関わって地域全体で取り組んでいく必要があり、健全育成には地域の環境が大きく影響してくると思います。

これからも、未来を担う青少年が生き生きと輝ける地域・町づくりを目指して参ります。

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

新
庄
市

「住みよさ」をかたちに 新庄市

新庄市青少年育成市民会議の活動

○新庄市と高萩市の児童交流事業

新庄市内の小学5・6年生を対象に友好都市である茨城県高萩市と児童交流事業を実施しています。市内の中高生もボランティアスタッフとして参加し、小学生のよきロールモデルとして活躍しています。

新型コロナウイルスの影響により、事業を実施できませんでしたが、新庄市民プラザの「キッズ☆フェスタ」と新庄市立図書館の「図書館まつり」においてワークショップ型のブースを設け、高萩市児童交流事業をはじめとした活動の紹介を行いました。

○チャレンジ体験パーク

参加者に「楽しい」と感じてもらう体験を通して社会性を育み、地域活動に参加するきっかけを作ることを目的に実施しています。



今年度は「田植え体験」と「稲刈り体験」を計画しました。両事業ともに新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら無事に開催することができ、参加した親子は楽しそうに体験活動を行っていました。

いずれの活動も、継続性をもった取組・実施を意識し、少年・青少年・成人と地域を支える人材育成に努めていきたいと考えています。

最
上
町人が元気 地域が元気 産業が元気
『キラリ輝く田園空間博物館の創造』

最上町の青少年健全育成活動について

令和4年度の最上町青少年育成町民会議の活動を紹介しします。今年度の活動テーマは、「笑顔さく、みんながつながる最上町」。活動目標は、「世代を超えて地域ぐるみで取組もう 明日を担う最上っ子のために」です。その目標のために、「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進、いじめ防止やあいさつ運動の推進、学校、PTA、地域関係団体との連携強化を重点に活動しております。

あいさつ運動に関しては、毎月第3水曜日町内各駅にて実施しております。その際に、いじめ防止の標語入りのポケットティッシュを配布し、いじめ防止活動も行っています。



また、最上町青少年育成町民会議では、小・中・高校生を対象に「標語コンクール」「絵手紙コンクール」を実施しました。多くの作品が集まりました。今後、作品集としてまとめ、学校、地域に配布いたします。

今後も青少年健全育成のために、さらに工夫しながら活動を進めてまいります。

金
山
町

四季 奏でるまち 金山

金山町青少年育成活動について

令和4年度、最初の活動として「金山町青少年健全育成町民大会」が予定されておりました。昨年度もコロナの影響で中止されており、2年ぶりの開催となりましたが、開催直前の新型コロナウイルス拡大により今年度も事業を中止せざるを得ない状況となりました。

よいスタートを切ることができなかった令和4年度ではありましたが、毎月（概ね15日）児童・生徒の登校時間に合わせた「あいさつ・声かけ街頭指導」や「少年非行防止の日」に、いじめ・非行防止の呼びかけ、SNSの使い方についての注意喚起を行うなど、青少年が心身共に健やかで人間性・社会性豊かに成長するような活動を行うことができました。



また、令和4年度「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動標語の町内選抜作品を掲載したクリアファイルの作成を行い、町内児童・生徒に配布しました。

今後も次世代を担う青少年の人材育成と健やかな成長につながるよう、地域や関係機関と連携し、継続して事業を展開して参ります。

舟
形
町

縄文の女神と若鮎の里

舟形町の青少年育成活動

令和4年度は、コロナ対策を行いながら、少しずつではありますが、例年通りの青少年健全育成に関する取組を実施することができました。

舟形町では、各町内会で地域の青少年と一緒に花苗を植える「花いっぱい運動」に取り組んでいます。この運動に取り組むことで、地域の環境美化のほかに、青少年と地域を繋ぐ大事な役割を担うことができます。子どもたちが植えた花苗を地域の方々と協力して水やりや草むしりを行い、地域全体で大切に育てています。その活動を支援するため、毎年花の咲き具合や管理状況等を審査し、優秀な町内会の表彰や町の広報誌等で取組を紹介しています。



現在、全国的に組織力の低下が懸念され、地域の方々と子どもたちが一緒に行う活動が少なくなっています。地域全体で青少年を見守り育てるためには、地域の団結力の維持が不可欠です。

今後も地域と子どもたちが一緒に取り組める活動を支援し、地域の団結力の強化や次世代の担い手育成に繋げていきます。

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

真室川町

人と地域と自然が輝く
協働のまちづくり

「4 駅クリーン作戦」

6月5日に、「4 駅クリーン作戦」を実施しました。「4 駅クリーン作戦」は町内にある真室川駅、釜淵駅、大滝駅、及位駅において、日頃から中学生・高校生が利用する駅の環境整備と町のイメージアップを図ることを目的に、地域住民及び各種団体の協力による清掃活動を実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり3年ぶりの開催となりましたが、青少年育成推進員やスポーツ少年団、婦人会、防犯協会など青少年育成関係者の皆さんから多数参加をいただき、総勢83名で駅舎や跨線橋、駅周辺の清掃を行い、4 駅をきれいにすることができました。

今後も地域住民の皆さんや、青少年育成団体の方々と協力を継続し、町の顔・地域の玄関である4 駅の環境を美しく保ち、大切に利用していきたいと考えています。



大蔵村

おかえり、なりわい灯す
きよらなる里

大蔵村の青少年育成活動

大蔵村では、2年越しに小学生自然体験事業「おおくら葉山塾」を開塾しました。大蔵小学校5・6年生を対象としたこの事業は、子供たちに大蔵村の自然の中で思いっきり遊び、みんなで協力し合い、沢山の歴史や人間性を学ぶことを目的に行われています。

今年度は、青少年育成推進員や高校生ボランティアOB、山形大学の学生がサポーターとなり肘折地区を舞台に行われました。コロナウイルス対策を取りながらの活動となりましたが、肘折地区にある大蔵鉱山跡の探検や動植物観察、BBQ、川遊びを実施しました。冷たい水にも負けず、元気に活動を行いました。

10月や11月には青少年育成推進員のごみ拾い活動、小中学校でのあいさつ運動を行いました。

新型コロナウイルスのため、社会の急激な変化に我慢を強いられる生活を送ってきた青少年が、のびのびと過ごすことが出来るように、青少年健全育成活動を今後も精力的に続けていきたいと思っています。



鮭川村



「清流」と「きのこ」と心のふる里

鮭川村の青少年育成活動

「村青少年育成村民の会と村ボランティアサークルが合同でやれることはないだろうか」と昨年度から提起し開催したのが、花いっぱい運動の合同実施でした。

花のある生活は心を豊かにして、落ち着く場所を作るのに効果があるとのこと、高校生と大人と一緒に作業に汗を流しました。

高校生は慣れない作業に戸惑う場面もありましたが、植えるデザインを考え、大人のベテラン達が植え方を教えて素敵な花壇が完成しました。



作業中に「高校生活は楽しいか」「何か困っていることはないか」など、コミュニケーションを取りながら実施できたことは、有意義な取組みだと感じました。

花植の作業後は周辺地区のゴミ拾いも実施しました。大きなゴミはないものの、たばこの吸い殻等が多くあり、細かいゴミを集中して探す姿が見られました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響はありますが、内容を考えながら活動することが大切になるかと思っています。

今後とも各団体が連携して、青少年の健全育成のための事業を推進していきます。

戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと
舟唄のこだまする村

戸沢村青少年推進員活動報告

10月8日に戸沢村中央公民館を会場に、「戸沢村青少年村民フォーラム」が開催されました。戸沢村の意見を交わすため、100人以上の村民が集まり、表彰や4つの分科会が行われました。

第1分科会では、知的・発達障がいの理解啓発活動をしている「花笠ほーぷ隊」を講師に、見た目では理解されにくい「しょうがい」について、疑似体験や講話を通して正しく理解し、行動する大切さを学びました。

第2分科会では、戸沢村を盛り上げるために活動している地域おこし協力隊の3名から、日々どんな活動をしているのかお話をいただきました。

第3分科会では、「本」という形で表現活動を行っている「あるほなつき」氏を講師に迎え、製本体験や読み聞かせを通じて読書への関わり方を教えていただきました。

第4分科会では、「親力と家庭教育」をテーマに、今の子どもたちの家庭での様子や教育についてお話をしました。

それぞれの分科会を通して、新しい戸沢村の未来について考えることができました。



私の宝物（青少年育成推進員の活動及び所感）**宝物を考えて**

新庄市青少年育成推進員 栗田 裕子

結婚を機に最上に来る時「60歳までちょっと行ってくるね。」と冗談で言っていたのは、知人ゼロの地で暮らす事への不安があったのだと思う。20年以上も生活すると、この話に「一緒にずっと暮らそうよ。」と笑ってくれる友人もできた。受け入れてくれた人達の存在は本当にありがたい一言に尽きる。

この始まりから、新庄・最上ならではの文化や人との出会いが広がったが、育成推進員の活動もその一つ。田植えや高萩交流、だやしや楽校の工作で見せてくれた子供達の真剣な表情や「できた！」の笑顔。その瞬間、瞬間、子供達の持つ可能性と未来に触れて、幸せな時間をもらっていたと思う。ここ数年その場も減り寂しい限り…。が、そんな気持ちを埋めてくれた出会いがあった。新庄・最上の自然だ。友人が教えてくれた山菜採りの楽しさ。見るだけだった杣蔵山や陣峰ラインを歩き、可憐な花や見たこともない景色に友人達と歓声をあげる。春夏秋冬、時に厳しい姿を見せながらも、どこか満たされない気持ちを癒してくれた。こんな世情だから発見し、深め合えた友情がある。

「出会い」は宝、そして何歳になってもやってくる。その瞬間を楽しみ、感動できる心をずっと持っていたいと思う。

**私の宝物**

最上町青少年育成推進員 菅 秀一

先日、上の孫の七五三、下の孫のお食い初めに招かれ、有意義な一日を過ごすことができました。目じりが下がればなしで、まさしく目に入れても痛くない状態でした。やはり、今一番の宝物は孫ですね。

一方、少子化・核家族化・新型コロナなど現代社会の急激な変化は、子どもたちが育つ環境に影響を与えていると思います。子ども同士が集団で遊びに夢中になったり、時にはぶつかりながら互いに影響し合ったりすることが減り、成長し自立する上で必要な様々な体験を経験する機会が少なくなっていると感じます。また、情報化の発展にともない、自然や広場での遊びが減り、ゲームやインターネットなど室内での遊びが増え、多くの情報に囲まれた環境にいるため、知識は増えるが断片的なものが多く、学びに対する意欲や関心が低くなっているとの指摘もあります。また、大人も人間関係の希薄化やコミュニティ意識の低下などから地域の子どもの育ちに積極的に関わろうとしないなどの状況が、子どもたちの生活環境や家庭における親の子育て環境を変化させていると感じます。

これからの地域社会を担う子どもたちは、地域の宝物です。子どもたちのため、できることをできるだけ続けていきたいと思っています。

**私の宝物**

金山町青少年育成推進員 天口 洋一

私には4人の子供がいます。一番上が大学3年生、一番下が小学5年生になります。時間がたつのは早いもので、あっという間に過ぎていったように思われます。子供達が大きくなればなるほど手がかからなくなり、嬉しいような、なんだか寂しい気持ちもあります。

さて先日、金山町の人口が5,000人を切りました。特に、20代以下の若年層の減少が多いそうです。

金山町の青少年育成推進員の活動で、朝のあいさつ運動があります。子供達の通学路での声掛けです。その際も自分が小・中学生だった頃に比べ登校する子供達の人数の少なさにとても驚かされます。でも、「おはよう」と声をかけると元気な声で返事を返してくれます。昨今はSNSの発達により便利な世の中になった反面、ネット依存など子供達の生活も大きく変わってきていると聞きます。しかし、子供達の元気なあいさつを聞くと人数や環境が変わっても、昔も今も変わっていないのではないかと感じられます。

地域の子供達に我々大人が出来る事は、多くなく、見守る事だけかもしれませんが、このあいさつ運動のような子供達と触れ合える活動を金山町全体に広げていき、子供達という「私達の宝物」を見守っていききたいものです。

**私の宝物**

舟形町青少年育成推進員 水野 幸

舟形町の青少年育成推進員を任命され、気が付けば今年で10年が経っていました。振り返ると長いようで短いような不思議な感覚です。しかし、生活の中で様々なものが変化しているのも事実だと感じています。

例えば、近年では、新型コロナウイルス感染症の問題や携帯電話がスマートフォンへ置き換わるなど10年前では想像もできないようなことばかりで、時代が刻々と変化していることを痛感しています。しかし、技術が進化している一方で失われているものも多くあり、生活が便利になった反面、少し物寂しさを感じる事もあります。古くなったから捨てるではなく、古いからこそ価値が出てくるものもあります。また、時代がどんなに変化したとしても今も昔も変わらないものもたくさんあると思います。

そのうちの一つが人との出会いです。青少年育成推進員の活動を通して、多くの人と出会い接する機会を頂きました。どんなに時代が変わっても、人とのつながりは変わらないと思います。そして、たくさんの人の優しさや温かさがあったからこそ、今日まで活動し続けることができました。

私にとっての宝物は、これまでの多くの人との出会いであり、人とのつながりだと感じています。

私の宝物（青少年育成推進員の活動及び所感）**ゴミ捨て防止喚起看板を設置して**

真室川町青少年育成推進員 姉崎 園子

10月8日（土）早朝より、真室川中学校JRC委員会がデザインしたゴミ捨て防止喚起看板の設置とゴミ拾いを行いました。真室川中学校より安楽城方面へポスター看板を設置しながら、ゴミ拾いも行いました。

真室川中学校より蟻喰までの区間はゴミが目立ち、美しい自然環境が失われている状態で、各団体のボランティア活動によりゴミ拾いが実施されていますが、一向にゴミのポイ捨ては減っていません。拾っては捨てられるたちごっこです。青少年育成推進委員でも昨年度ゴミ拾いを行いました。ゴミの多さに驚き、環境美化を守っていくために今年度は看板設置を考え、ポスター制作を真室川中学校にお願いしたところ、快く引き受けてもらいました。出来上がったポスターをベニヤ板に貼り付け、立てかけました。

ポスターには、中学生の環境汚染への思いが描かれています。一人でも多くの人の目に留まり、環境美化に関心を持ってもらいたいです。ポスターを目にした方に思いが伝わり、住みよい町づくりに繋がっていければ良いと思います。

これからも、素晴らしい仲間と行動を共にし、活動を続けていきたいと思っています。

**私の宝物**

鮭川村青少年育成推進員 野尻 直樹

夏に地元の高校生と一緒に花植えを体験した。一から畑を起こし、石を取り、ビニールをかけ、等間隔に穴を開けていく。そこから、色とりどりの花を自らのセンスでバランスよく植えていった。簡単なようで初めての体験であった。私自身、若さにはまだまだ自信があったのだが、さすがに高校生には負けてしまった。勢いよく腰を曲げ元気よく立ち上がる姿、そこから、また次の穴の開いた所へ花を植える行動が速くて、感心するところがあった。

また、秋にも駅構内や電車内で見守りをさせていただき、色々なことを発見できた。私の時代とは違い、電車通学の学生の人数が少なく、とても悪さを行うような雰囲気は感じられなかった。平和な世の中で安心する反面、もっとやんちゃな時代であっても、私はワクワクしてそれも楽しいのではないかなと思う。

さて、私の宝物であるが、まずは初めて体験できたことが勉強につながっている。大人になってから、花を植えることや電車に乗ることはほぼ無く、とても懐かしく、初めての体験であった。機会がないとこのような体験はできないので、今後も「初めてと懐かしさの体験」という宝物を見つけていきたい。

**私の「葉山塾」**

大蔵村青少年育成推進員 熊沢 健

今年、コロナウィルスの影響により大幅に規模を縮小して「葉山塾」を開催しました。以前は宿泊でしたが、日帰りで実施することになりました。それでも、子供達と一緒に活動できることを嬉しく感じています。

当日、推進員の仲間3人が都合で参加できなくなりましたが、「高校生ボランティア」を卒業された大学生達が友達を連れて参加してくれたので大変助かりました。この「葉山塾」の存在の大きさと、参加して育った子供達との絆の強さを垣間見た想いです。

最初は大蔵鉾山を訪れました。観光ガイドをされている斉藤さんに協力をいただき、鉾山の歴史や文化について学びました。また、道すがら山の動植物についても説明して貰いました。

次は、川遊びです。小雨が降るあいにくの天気にも関わらず、元気に川に向かいます。私達も一緒に川へ。プール以外で泳ぐのは初めての子供達。常に人数を確認し、異常が無いかわりを光らせます。今まで外で思い切り遊べなかった鬱憤を晴らすかのように、何度も上がっては入りを繰り返しました。少しでも心のモヤモヤが取れば幸いです。

これからも体力と耐力を維持しながら、様々な関わりの中で自分の考えを自分の言葉で相手に伝えられる人になれる事を願いながら活動してまいります。

**“地域のつながり”**

戸沢村青少年育成推進員 安食 信和

平成30年8月の豪雨災害から4年が経ちます。国や県の人命を守るための整備事業として、輪中堤の建設工事がほぼ完了してきています。雨が降るたびに災害を心配していましたが、輪中堤や排水施設の整備により安心して生活できるようになりました。しかし、氾濫した角間沢川付近の4世帯については、住み慣れた家を離れ、ふるさとを出ていく選択をされた方々の気持ちを忘れてはなりません。残った住民として互いに声掛けや話し合いの場を持ち、想定外の災害に備え防災意識を高め、協力し合いながら考え、実行していくことが大切だと実感しています。

蔵岡ふるさと塾では、冬の一大イベントとして「紙風船まつり」を毎年2月下旬に行っています。和紙の裁断・絵付け・組立て作業を約2ヶ月半に亘り行い、各スポンサーや北ノ妙創郷大学、戸沢学園と協力し、8基から10基の紙風船を冬の夜空に打上げています。豪華花火やスカイランタンも冬のまつりに華を添え、幻想的な風景に厳しい寒さをひと時忘れ、幸せを感じます。

少子・高齢化が進んでいますが、地域のつながりを大切にし、ふるさとで生活していくために地域活動を継続していきたいと考えています。

令和4年度 主な事業の報告

最上地区青少年育成推進員研修会 令和4年10月15日（土） 於真室川町イベントハウス遊楽館

開会行事では、青少年育成推進員として10年の長きに亘り青少年の健全育成のために活動されてきた4名の方に、最上地区青少年育成連絡協議会小松功会長より感謝状が贈られました。

◇青少年育成推進員表彰者 ・水野 幸氏（舟形町） ・中島 照光氏（大蔵村）
・佐藤 明美氏（鮭川村） ・高嶋 光一氏（鮭川村）



《研修Ⅰ》 青少年の現状と今年度の青少年育成活動について

山形県の少年補導は、過去10年減少傾向が続いている。不良行為少年については、深夜徘徊が最も多く、次に喫煙、飲酒となっている。一方、SNSに起因した被害やトラブルは後を絶たず、不正アクセス禁止法違反に問われる友人のIDを盗み、不正使用により補導される事案が増えている。青少年のスマホの所有者は保護者であり、その認識に立って「フィルタリング」や「ペアレンタルコントロール」等のサービスを有効活用することが不可欠となっています。最上地区青少年育成連絡協議会では、引き続き青少年の健全育成に向けて各市町村や関係機関と連携を図りながら、「大人が変われば子どもも変わる」運動と「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動に取り組んでいきます。

《研修Ⅱ》 講演「自然と仲間と地域とのふれあいで成長していく子どもたち」

講師 神室少年自然の家施設管理者 斎藤 秀二氏



これまでの教員生活や社会教育を通して培った豊かな見識や経験を踏まえ、子どもたちの実態や求められる生き方等について、深い示唆を与えていただきました。「子どもの小さな変容を見逃さない」「できるだけ偏食のない子に育てる」「環境の変化に対応できる子に育てる」ことを意識し、大人が関わっていくことが重要である。これからの厳しい社会環境に上手く適応していくためにも、子どもたちには自然や集団での体験活動は欠かせないものとなる。とりわけ食の大切さ（食は人を良くし、人の心を整える）を強調されました。

令和4年度最上地区青少年育成懇談会

令和4年12月10日（土） 於新庄市民プラザ



当日は、生徒会代表と市町村ボランティアサークルの高校生、青少年育成団体代表者等40名に出席いただきました。「成年年齢18歳～自立や社会参加に向けて必要な力とは～」のテーマを受け、3グループに分かれて熱心な意見交換が行われました。特に、参加された高校生の意識が高く、大人の考え方や体験談に耳を傾け、これからの人生と重ね合わせて深く考える契機となりました。懇談会の後段では、地域を明るく・元気にするメッセージを以下のようにまとめ、発信しました。

◎「過去を振り返るより 未来を見つめよう」
◎「地域のために 自分を笑顔に」 ◎「地域の元気の源は自分たち！あなたの行動で 地域を明るく元気に」 ◎「一人で生きている人はいない～コミュニケーションを通し自分の世界を広げる～」
◎「誰かの役に立てないのではなく みんなの役に立てる みんなが地球の一員」 …心に響きます。

令和4年度山形県青少年育成県民大会

令和4年10月30日（日）

於長井市民文化会館



「人生のトリセツ～対話の達人になるための脳科学」を演題に、感性リサーチ代表取締役黒川伊保子氏より講演がありました。人間関係をネットワークシステムとして捉える手法に着手してきた研究を基に、男女間で思考法が違うことを強調されました。対話には、事実と問題点を語る「問題解決型」（主に男性）と気持ちと記憶を語る「共感型」（主に女性）の2種類があり、夫婦間で話が通じなくなる原因は夫が客観的事実以外は捨てて聞く傾向があり、妻が共感と労いを求める傾向から互いにかみ合わなくなることから生じるとの興味深い話がありました。また、大会では本地区から4名が表彰されました。誠にありがとうございます。

☆青少年育成功労者 ・小野 広美氏（新庄市）
・小沼 幸男氏（金山町）・松田 尚貴氏（金山町）

☆優秀標語作者
・矢口 莉愛さん（戸沢村立戸沢学園）

編集後記

ご多忙の中巻頭言や「私の宝物」、市町村での育成事業等の紹介で、玉稿をお寄せいただきました皆様に心より感謝申し上げます。令和5年度も最上の知恵と力を結集し、青少年の健全育成に努めてまいります。

村 民 の 皆 様 へ

肘折いでゆ館 ・ カルデラ温泉館 の

『入浴料金』の改正と『休館日』と『営業時間』変更のお知らせ

日頃、肘折いでゆ館、カルデラ温泉館をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスに対する国の位置づけも柔軟となり、対応も変化してきました。

一方、光熱費をはじめとした物価の高騰は目に余る状況にあります。

当社としても、様々な経費削減に努めてまいりましたが、現状では打開策もなく、大変厳しい状況となっております。

そこで、お客様には大変申し訳ありませんが、3月1日より、入浴料金の値上げをさせて頂くことにしました。休館日と営業時間も5月から変更しますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

【肘折いでゆ館】

入浴料 450 円 → 500 円

【カルデラ温泉館】

入浴料 500 円 → 550 円

両館共、村民割引は 200 円→100 円となります

村民無料入浴の土曜日は継続します

休憩料金は据え置きです

『休館日』の変更 ⇨ 肘折いでゆ館	5 月～10 月	<u>毎週火曜日</u>
	11 月～4 月	<u>月曜と火曜日</u>
カルデラ温泉館	5 月～10 月	<u>毎週水曜日</u>
	11 月～4 月	<u>水曜と木曜日</u>

(ただし、休館日が祭日の場合は、営業いたします)

『営業時間』の変更

【肘折いでゆ館】

5 月～10 月 9 : 30～17 : 30

11 月～4 月 10 : 00～17 : 00

【カルデラ温泉館】

5 月～10 月 10 : 00～17 : 00

11 月～4 月 10 : 00～16 : 00

(入浴受付は、両館共最終時間の 30 分前までとなります)

上記の休館日・営業時間の変更は ⇨ **令和 5 年 5 月 1 日 (月) からとなります**

令和 5 年 2 月 18 日
肘折温泉郷振興株式会社

肘折いでゆ館・カルデラ温泉館の社員募集案内

令和 5 年 2 月 18 日
肘折温泉郷振興株式会社

村民の皆様には、いつも「肘折いでゆ館」ならびに「カルデラ温泉館」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、次のとおり募集いたしますので、ご応募いただきますようお願い申し上げます。

- 1 **募集期間** 2 月 20 日より午前 9 時から午後 5 時まで、「肘折いでゆ館」で受け付けます。(月曜、火曜日定休日)
- 2 **募集人数** 施設管理係 1 名
- 3 **応募資格** 平成 17 年 4 月 2 日までに生まれた方で大蔵村に住所を有し(予定含む)、健康で勤務場所に通勤可能な男性の方。
普通自動車免許所有の方
- 4 **応募方法** 「履歴書」に所定事項と社員に応募する旨を記入し、提出して下さい。
- 5 **採用決定** 書類審査と個別面接により選考します。正式な日時は本人宛、追って連絡します。
- 6 **労働条件**
 - (1) **雇用期間** 採用決定後、研修期間を含め、早めに働いていただきます。
 - (2) **就業場所及び従事する業務** 肘折いでゆ館およびカルデラ温泉館で、両施設の業務全般
 - (3) **就業時間** 就業場所ならびに就業体制により、次の 2 つの場合があります。
8 時～16 時 30 分(早番)、10 時 30 分～18 時 30 分(遅番)
 - (4) **休日及び有給休暇** 原則として月に 6 日の休日(本人希望加味)、就業体制により休日の増が可能です。
有給休暇は、半年後(10 日)法定により与えます。
 - (5) **賃金** 1 年目は日給制とし、毎月 25 日に支給します。
1～2 年を経過後、段階的に月給制(正職員)に移行します。
通勤距離により、通勤手当を支払います。
 - (6) **社会保険** 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入します。

《問合せ先：肘折いでゆ館 八畝まで TEL 3 4 - 6 1 0 6 大蔵村肘折温泉 4 5 1 - 2》

再就職・転職を考えている
社会人の皆様へ

令和5年4月開講

あなたの
キャリアアップを
応援します！

受講生
募集

介護福祉士養成科 医療ビジネス科

山形県離転職者職業訓練(公共職業訓練) 訓練期間:2年間

このコースは、求職活動中の方を対象として、国家資格等を取得し、正社員就職を目指すものです。
新庄コアカレッジでは、「介護福祉士養成科(介護福祉士等)」及び「医療ビジネス科(登録販売者試験等)」について学びたい方を募集します。



入学金
受講料2年間
無料!!

受講中の特典



Point 1

入学金・受講料は無料

教科書代等は自己負担。

Point 2

雇用保険受給資格者の方
受講期間中、雇用保険の手当を受給しながら学ぶことができます。

Point 3

その他

一定の要件を満たす方は、給付を受けられる場合があります。

募集期間

令和5年2月22日(水)から3月3日(金) 12:00 まで

申込方法

手続きは居所を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)で行ってください。

介護福祉士養成科の
詳細はこちらから



医療ビジネス科の
詳細はこちらから



お問い合わせ先



学校法人最上広域コア学園
新庄コアカレッジ

〒996-0091 山形県新庄市十日町 6162-11

TEL.0233-29-2121/FAX.0233-28-1001

URL <https://shinjo.core-gakuen.com/>

E-Mail scc_office@core.ac.jp

介護福祉士養成科の概要



1. 訓練目標

介護のプロとして唯一の国家資格である「介護福祉士」資格の取得を目指す。



2. 訓練内容

人間と社会(人間と尊厳と自立、人間関係とコミュニケーションetc)
介護(介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援技術etc)
こころとからだのしくみ(発達と老化の理解、認知症の理解etc)



3. 取得可能資格

介護福祉士国家試験受験資格、Word、Excel、
ITパスポート(選択科目)、登録販売者(選択科目)etc



4. 就職を想定する職種

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、病院デイサービスセンター、
訪問介護員(ホームヘルパー)、障害福祉サービス事業所etc

医療ビジネス科の概要



1. 訓練目標

医療分野の専門性の高い学科及び実技の訓練を行い、医療事務、登録販売者等の
国家資格等の取得を目指します。



2. 訓練内容

医療事務、登録販売者、調剤事務、簿記、パソコンスキルetc



3. 取得可能資格

登録販売者、医療事務技能審査試験(医科)、調剤報酬請求事務試験、ビジネス
能力検定ジョブパス、簿記検定、Word、Excel、Access検定、硬筆書写検定、
ITパスポート(選択)、介護職員初任者研修(選択)etc



4. 就職を想定する職種

メディカルクラーク(医療事務/医科)、薬局・薬剤師補助業務、ドラッグストアスタ
ッフ、介護職員、一般事務・経理事務、パソコンオペレータetc

最上南部通信

××××油流出事故を防ぐためには××××

暖房を使う冬季は、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油が漏れだして、河川に流れ出る事故が増えます。注意してバルブを閉めたつもりでも、老朽化や腐食が原因で灯油が漏れる場合もあり、除雪中に給油管を傷つけ、気づかないうちに流出しているケースもおきています。

まだまだ寒い日は続きますので、再確認！

事故防止の心がけ

- その場を離れない・目を離さない
- 配管の場所には目印をつける
- 定期点検を怠らない



50万円も負担したケースも！

事故を起こすと油の除去に費用がかかり、**原因者が負担**することになります。

！出張所管内で水質事故が発生！

12月に出張所管内でホームタンクのコックがゆるんでいたことにより灯油約380L流出する事故が発生しました。市町村と当出張所では早急に、被害拡大を防止する対応を行いました。



油吸着マットの設置(市町村対応)



オイルフェンスの設置(出張所対応)

オイルフェンスで油を集め、吸着マット等で回収します。



油膜

事故発生時の水路の様子



1/4対応完了

油膜油臭共に確認されなかったことから対応を終了しました。



油の流出事故を起こした・発見した場合・・・お近くの消防署・警察署・市町村役場・県の各総合支庁・国土交通省へご連絡ください

！！！ WARNING ～融雪時の災害～ ！！！！

12/31に山形県鶴岡市で土砂崩れが発生し、約10棟の家屋が巻き込まれ、2人が犠牲となりました。融雪時は大量の雪解け水が染み込んで地盤が緩み、土砂災害が発生するリスクが高くなります。今回の土砂災害を受け、自分の住んでいる地域が安全なのかを今一度、確認してみましょう。



最上南部流域治水出張所

災害の種類ごとに色分けされていて避難場所も確認できます！



ここから検索！

危険を把握！

国土交通省『ハザードマップ』で土砂災害警戒区域等を調べることができます。

URL: <https://disaportal.gsi.go.jp/>

QRコード⇒



今年度工事完了のご報告③

最上川中流本堀内地区災害復旧工事

工事内容 令和2年7月の豪雨で被害を受けた護岸を復旧する工事とともに、川幅を広げ水の流れをスムーズにする工事です。

現場は、県道の大石田畑線の近くにあり、道路へ影響が出ないように工夫しながら工事をしました。
 工事は、県道の大石田畑線に交通規制をしながらの施工としたため、地域の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解ご協力により、無事に工事を完成させる事ができました。
 あらためまして、関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



升川建設(株)
現場代理人 国井 将司 さん



出典：国土地理院地図に工事箇所等を追記して掲載

銅山川流域舩玉地区整備工事

工事内容 令和元年7月に銅山川流域で発生した集中豪雨により被災した舩玉第2砂防堰堤の補修を行うための工事用道路を造成する工事です。



永井建設(株)
現場代理人・監理技術者
羽賀 達男 さん



当現場は、銅山川の流れを締切っての作業となるため、集中豪雨時の増水及び地山の崩落災害を防止するために、現場内に定点WEBカメラを設置し河川の水位観測及び地山点検を行ってから作業を行った事により、無事故で工期内に工事を完成させることが出来ました。あらためて工事関係者及び、地域の皆様に感謝致します。

新庄河川事務所 最上南部流域治水出張所

〒996-0212
 最上郡大蔵村大字清水字堀川2346
 TEL: 0233-75-2204
 FAX: 0233-75-3023
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>



↓ 新庄河川事務所ホームページ



仕事内容や工事
情報などを紹介
しています。

↓ 新庄河川事務所Twitter



防災やイベント、
工事などの情報を
発信するサイトです。